

国	内	県	内
1日	<b>9月日銀短観、非製造業の景況感悪化</b> 日本銀行は、9月の企業短期経済観測調査で大企業非製造業の業況判断指数(DI)がプラス13と発表。	1日	<b>宮崎カーフェリーの神戸航路就航</b> 宮崎カーフェリーは、宮崎港と神戸港を結ぶ新規航路を就航。
4日	<b>9月の生活意識アンケート、個人の景況感悪化</b> 日本銀行は、9月の生活意識アンケートで個人の景況感を示す指数がマイナス20.4と発表。	3日	<b>宮崎大学が「ハラル」セミナーを開催</b> 宮崎大学は、イスラム法に基づく「ハラル市場」への参入に関するセミナーを開催。約90人が参加。
7日	<b>ノーベル物理学賞を日本人3人が受賞</b> 2014年ノーベル物理学賞を、青色LEDを開発した赤崎勇、天野浩、中村修二の日本人3人が受賞。	6日	<b>14年度上半期、県内企業倒産13件</b> 帝国データバンクは、県内の2014年度上半期企業倒産集計を発表。法的整理による倒産は13件。
7日	<b>内閣府が景気判断を下方修正</b> 内閣府は、8月の景気動向指数の一致指数が前月比1.4P低下したことから、基調判断を下方修正。	6日	<b>宮崎大学が「グローバルギャップ」認証取得</b> 宮崎大学の住吉フィールド(牧場)は、畜産分野では日本初の「グローバルギャップ」認証取得を発表。
8日	<b>9月街角景気、先行き悪化</b> 内閣府は、9月の景気ウォッチャー調査で景気の先行き判断指数が前月比1.7P低下の48.7と発表。	15日	<b>13カ国の駐日大使が本県視察</b> 13カ国の駐日大使夫妻が本県のスポーツ施設や観光地を視察。県や市町村は五輪合宿などをPR。
8日	<b>8月国際収支、2カ月連続の黒字</b> 財務省は、8月の国際収支速報で経常収支の黒字額が前年比82.7%増の2,871億円と発表。	15日	<b>宮崎市で「フードビジネス推進大会」開催</b> 宮崎市で農林漁業の生産者所得向上などを目指した「フードビジネス推進大会」が開催。約400人が参加。
9日	<b>8月機械受注、前月比4.7%増の8,078億円</b> 内閣府は、8月の機械受注統計(季節調整値)で「船舶・電力を除く民需」の受注額が8,078億円と発表。	16日	<b>宮崎市中心部の平日通行量、3年連続減少</b> 宮崎市は、7月に実施した市中心部の通行量調査の結果を公表。平日は前年比0.6%減の66,934人。
18日	<b>国産初小型ジェット機「MRJ」が公開</b> 三菱航空機は、国産初の小型ジェット旅客機「MRJ」の飛行試験用機体を公開。	17日	<b>小林市、観光交流センター新設を公表</b> 小林市は、JR小林駅周辺再開発事業計画素案の中で地域・観光交流センターの新設を公表。
21日	<b>10月月例経済報告、景気判断2カ月連続下げ</b> 内閣府は10月月例経済報告で、景気の基調判断を「このところ弱さが見られる」と2カ月連続で下方修正。	21日	<b>県、地方創生本部を設置</b> 県は、地方創生に関する情報の収集や調査・分析などを全庁的に行う「県地方創生本部」を設置。
21日	<b>九電、再生エネの電力買い取り一部再開</b> 九州電力は、太陽光など再生可能エネルギーで発電した50kw未満の電力買い取りを再開すると発表。	21日	<b>世界農業遺産の国内候補に高千穂郷・椎葉山</b> 農林水産省は、世界農業遺産の国内候補に高千穂郷・椎葉山の農林業や伝統文化を選出。
22日	<b>4～9月貿易収支、5.4兆円の赤字</b> 財務省は、14年度上半期貿易統計(速報)で貿易収支が過去最大の5兆4,271億円の赤字と発表。	22日	<b>医療関連産業新規参入支援セミナー開催</b> 県工業技術センターで、本県企業の医療関連産業への新規参入を支援するセミナー開催。
31日	<b>9月消費者物価3.0%上昇</b> 総務省は、9月の全国消費者物価指数(生鮮食品を除く)が前年比3.0%上昇の103.5と発表。	26日	<b>宮崎空港の愛称、「宮崎ブーゲンビリア空港」</b> 開港60周年を記念して付けられる宮崎空港の愛称は「宮崎ブーゲンビリア空港」に決定。
31日	<b>9月消費支出5.6%減</b> 総務省は、9月の家計調査で2人以上世帯の消費支出が、実質で前年比5.6%減の27万5,226円と発表。	27日	<b>食品開発センターに「フード・オープンラボ」完成</b> 県は、フードビジネス振興の拠点として食品開発センターに最新機器を備えたフード・オープンラボを開設。
31日	<b>日銀が追加の金融緩和決定</b> 日本銀行は、金融政策決定会合で追加の金融緩和を決定。資金供給量を年80兆円に拡大。	31日	<b>9月正社員有効求人倍率、過去最高の0.53倍</b> 宮崎労働局は、9月の正社員有効求人倍率(原数値)が、統計を取り始めてから最高の0.53倍と発表。